

(一般質問)

質問日	令和5年12月4日(月)		質問方式	分割方式			
質問順位	10	会派名	自由民主党浜松	議席番号	43	氏名	花井 和夫
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 G I G Aスクールの構想に伴い配備したタブレット型端末の利活用について	<p>令和2年度から国が進めるG I G Aスクール構想も4年目となり、本市においても全小・中学校に一人一台のタブレット型端末が配備され、利活用に向けて環境が整備されてきた。</p> <p>今年4月に全国学力・学習状況調査が実施され、端末機器の利活用に関する調査結果が文部科学省から発表されたが、全国平均に比べ本市の状況は決して高い数字とは言えない。学校の授業以外の活動においても積極的に活用していくことが、授業も含めた利活用の底上げにつながるものと思う。</p> <p>本市としても全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、より詳しく分析した上で更なる利活用を推進していくべきである。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 現在のタブレット型端末の利活用についてどう評価しているか、また見えてきている課題について伺う。</p> <p>(2) 課題を含め、今後の更なる利活用推進に向け、どのように進めていくのか伺う。</p>					奥家学校教育部長	
2 これからの公園の在り方について	<p>コロナ禍等社会状況の変化や市民ニーズの多様化、また維持管理の課題など、公園を取り巻く環境は大きく変化しており、これからの時代にふさわしい公園の在り方を検討していく必要がある。国においても官民連携による、より柔軟に都市公園を使いこなすための質の高い公園管理運営の在り方について、使われ活きる公園の実現に向けた必要な提言がなされている。</p> <p>本市でも、緑の基本計画策定を契機に魅力ある使ってもらえる公園にするため、活性化や魅力づくりに向けた様々な取り組みが行われている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 利活用される魅力ある公園づくりをしていくために、国の提言や本市の緑の基本計画に基づく取り組みと、今後の施策展開について伺う。</p> <p>(2) これからの公園の管理や運営は行政だけではなく、地域や事業者等様々な主体を巻き込んだ官民連携が重要と考えるが、本市の取り組みについて伺う。</p>					中村花みどり 担当部長	
3 本市の国際戦略について	<p>観光誘客や国際貢献など各都市の更なる活性化に向けて、全国で国際戦略に関する計画が策定されており、世界から選ばれる都市を目指し、都市間競争は激しさを</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>増している。</p> <p>本市でも、浜松の持つ特徴や強みを生かした効果的な国際化施策の展開を通し、本市の活性化と国際社会への貢献を図る指針として国際戦略プランが策定をされ、第2次プランが今年度で終期を迎える。コロナ禍からの脱却や厳しい国際情勢など世界の動きを踏まえ、時代に沿った新たな国際戦略を考える必要がある。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 国際戦略プランが今年度終期を迎えるに当たり、これまでの海外諸都市や国際関係機関等との連携の取り組みの成果について伺う。</p> <p>(2) 次期の第3次国際戦略プランの概要について伺う。</p> <p>(3) 市民による草の根の国際交流が活発に行われており、そうした国際交流団体に今後期待することや、支援の在り方について伺う。</p> <p>(4) 産業政策における海外戦略の現状と、今後の方針について伺う。</p>	<p>石坂企画調整部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>北嶋産業部長</p>
4 U I J ターン就職の促進について	<p>日本の人口は14年連続で減少し全都道府県すべてで減っており、生産年齢人口の減少により社会経済や社会保障に大きな影響が生じることとなり、働き手の確保が急務である状況となっている。</p> <p>浜松市やらまいか人口ビジョン（令和2年改訂版）においても、生産年齢人口は、2020年の約46万人に対し、2060年には約30万人で約16万人もの減少が予測されている。このまま推移すれば、本市は今後40年で35%もの労働力を失うことになり、労働力不足がますます深刻化していくことを危惧する。特に、進学等で転出する若者が多い本市では、新卒者等のU I J ターン就職は欠かせない施策の一つである。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市における高校卒業後の進学状況と、U I J ターン就職の状況について伺う。</p> <p>(2) U I J ターン就職促進に係る課題と、今後の取り組みについて伺う。</p>	北嶋産業部長
5 家康公ブランドについて	<p>本市ゆかりの徳川家康公について、2011年の市制100周年記念事業として家康公プロモーション事業が実施され、その後、薨去400年や浜松城入城450年などの節目を捉えて様々な取り組みが行われ、家康公ブランドの醸成が行われてきた。</p> <p>今回の大河ドラマの放送は、歴史的・文化的価値も含め家康公ブランドを高める集大成の絶好の機会となり、官民連携による様々な取り組みが行われている。</p> <p>そこで、大河ドラマの放映に合わせ実施した家康公を</p>	齊田観光・ブランド振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>活用した取り組みの成果と、家康公ブランドを活用した今後の取り組みについての考えを伺う。</p>	
<p>6 浜松環状線の整備と鉄道高架化について</p>	<p>浜松環状線の整備と鉄道高架化について、平成15年に建設促進期成同盟会が発足し、早期完成を要望してきた。地域では慢性的な渋滞や大型車の通行、脇道への車両進入による交通事故の不安もあり、一刻も早い工事完了が望まれている。</p> <p>浜松環状線は、高速道路インターチェンジ間や放射道路を結ぶ交通の円滑化にストック効果の高い道路であり、また災害発生時には、緊急輸送道路としての役割を持つ本市の物流機能を支える重要な道路である。</p> <p>現在、4車線化の道路整備と遠州鉄道の高架化が進められており、未整備区間約1.2キロメートル区間のうち、中郡第2工区340メートルの区間で事業が進められており、残りの未着手区間である天竜浜松線までの区間の約900メートル及び遠州鉄道西ヶ崎駅付近の立体交差区間を残すのみとなっている。</p> <p>また、西ヶ崎駅周辺は、遠州鉄道と浜松環状線が交差する交通結節点として高いポテンシャルを有しており、浜松環状線の整備と鉄道の高架化に向けて地域の大きな期待もある。</p> <p>そこで、浜松環状線の整備と遠州鉄道の高架化について、現在の進捗状況及び今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>伏木土木部長</p>